

www.jwing.net
mail@jwing.net



ヨーロッパ特集2016

欧州のカントリーサイドを訪ねて
「欧州文化首都」と「ヨーロッパの美しい村30選」

Team
EUROPE



EUROPE SPECIAL 2016

JATA Team EUROPE ヨーロッパの新しい魅力を打ち出す

Team
EUROPE

「ヨーロッパの カントリーサイドを訪ねて」

「欧州文化首都」を
新たなプロモーションに追加

日本旅行業協会(JATA)の「JATAヨーロッパ観光促進協議会」(Team EUROPE)は、2016年度の活動キーワードを「ヨーロッパのカントリーサイドを訪ねて」に設定、ヨーロッパの新しい魅力を打ち出すことで、今後の需要喚起につなげていく。具体的には、昨年選定した「ヨーロッパの美しい村30選」に続き、「欧州文化首都」を新たなプロモーションに追加、各観光局やツアーオペレーターなどの協力を受け、会員旅行会社への浸透を図る方針だ。

新素材に「欧州文化首都」を提案 新しい旅行商品の造成目指す

今年度の活動キーワードである「ヨーロッパのカントリーサイドを訪ねて」に基づき、大都市だけではないヨーロッパの新しい魅力として、Team EUROPEが新たに力を入れる「欧州文化首都」。欧州連合(EU)が「相互の文化理解」を目的に、毎年制定しているもので、制定を受けた都市は、年間通じて芸術文化関連のイベントを展開していく。

欧州文化首都

2016年	サン・セバスティアン(スペイン)／ ヴロツワフ(ポーランド)
2017年	パフォス(キプロス)／ オーフス(デンマーク)
2018年	レーフルデン(オランダ)／ ヴァレッタ(マルタ)

▶詳しくは、4～5ページ参照

Team EUROPEでは、今年の5月に来年の欧州文化首都となる予定のキプロスのパフォスとデンマークのオーフスへの視察旅行を実施。6月に実施した会員旅行会社向けフォーラムでは、2016年度の活動紹介と合わせて視察旅行の報告を行い、両デスティネーションの魅力を交えながら商品造成の可能性について説明した。9～10月には、



日本旅行業協会(JATA)菊間潤吾副会長・海外旅行委員長
6月に実施した「欧州旅行復活に向けた緊急フォーラム」で
パネルディスカッションのモデレーターを務めた。
パネルディスカッションのテーマは
「欧州旅行活性化に向けた逆風下での売れ筋商品とは」。
仕入れ面などを含め、新たな発想、
切り口での商品造成が今後求められる

会員旅行会社向けの視察旅行を計画しており、来年上期商品での両デスティネーションを盛り込んだツアー造成を目指す。

また欧州文化首都では、日本文化を紹介する「EU・ジャパンフェスト」が毎年開かれることから、Team EUROPEでは、交流団体向けにもアピールできる素材として、団体営業へのアプローチも強化していく方針。各交流事業については、「EU・ジャパンフェスト日本委員会」がサポートを行っている。

さらに9月22～25日の「ツーリズムEXPOジャパン」では、業界向け、また一般消費者向けそれぞれに、欧州文化首都に関するセミナーを実施する予定だ。

「ヨーロッパの美しい村30選」 プロモーション継続 フォトコンテスト&写真展も

昨年、Team EUROPE主導で選定を行った「ヨーロッパの美しい村30選」。2016年度活動キーワードである「ヨーロッパのカントリーサイドを訪ねて」に基づき、Team EUROPEでは、引き続き「ヨーロッパの美しい村30選」のプロモーションを継続していく。

新たな取り組みとしては、ツアー参加者を対象としたフォトコンテストを実施。会員旅行会社各社が企画した「ヨーロッパの美しい村30選」の村に訪ねるツアー商品の参加が条件で、優秀作品は「ツーリズムEXPOジャパン」で写真展として展示、入選者には記念



昨年の「ツーリズムEXPOジャパン」での様子

品と共に表彰する。また昨年同様、「ツーリズムEXPOジャパン」会場では関連セミナーを開催、会員旅行会社向けの研修旅行も予定している。

「ヨーロッパの美しい村30選」は、日本人が見て美しいと感じ、行ってみたい新たなヨーロッパのデスティネーションとして選定したもの。①デスティネーション開発の観点から。メディアへの露出度が低く、これまで商品化されていなかった②特定の国や地域にかたよることなく、ヨーロッパ全体から幅広く選ぶ③旅行会社の視点から消費者に広くアピールできる魅力がある④アクセスやインフラが商品造成上障害とならない、の4つの選考基準を設け、30の村をピックアップ。イタリアとフランス、ドイツについてはそれぞれ2つの村を選んでいる。



「Team EUROPE 情報Webサイト」で情報発信
<http://www.jata-net.or.jp/team-europe/>

ヨーロッパの美しい村30選

(国名五十音順)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ▼キルケニー(アイルランド) | ▼クヴェトリンブルク(ドイツ) |
| ▼ベラツト(アルバニア) | ▼ベルンカステル クース(ドイツ) |
| ▼チヴィタ・ディ・パニョレージョ(イタリア) | ▼ギョルヤズ(トルコ) |
| ▼ブローチダ島(イタリア) | ▼レーヌ(ノルウェー) |
| ▼コンウィ(イギリス) | ▼ショプロン(ハンガリー) |
| ▼レツヒ(オーストリア) | ▼ボルヴォー(フィンランド) |
| ▼ヒンデローペン(オランダ) | ▼サン・シル・ラポピー(フランス) |
| ▼レフカラ(キプロス) | ▼リクヴィル(フランス) |
| ▼ロヴィニ(クロアチア) | ▼コプリフシティツァ(ブルガリア) |
| ▼ソーリオ(スイス) | ▼シント・マルテンス・ラーテ(ベルギー) |
| ▼ヴィスビー(スウェーデン) | ▼ザリピエ(ポーランド) |
| ▼セテニル・デ・ラス・ボデガス(スペイン) | ▼モンサント(ポルトガル) |
| ▼ブルコリニツツェ(スロヴァキア) | ▼オフリド(マケドニア) |
| ▼ピラン(スロヴェニア) | ▼コトル(モンテネグロ) |
| ▼マリアーンスケー・ラースニェ(チェコ) | ▼グラフモールルイ(ルーマニア) |

詳しくは「Team EUROPE 情報Webサイト」まで

<http://www.jata-net.or.jp/team-europe/>

週刊ウイングトラベル

ヨーロッパ特集2016

「ヨーロッパのカントリーサイドを訪ねて」

- | | |
|--------|----------------------|
| Page 2 | JATA Team EUROPE |
| 3 | レイルヨーロッパ |
| 4 5 | 欧州文化首都 |
| 6 | Team EUROPE 情報Webサイト |
| 7 | 航空新聞社電子版のご案内 |
| 8 | ポーランド政府観光局 |
| 9 | マルタ観光局 |
| 10 | アリタリア-イタリア航空 |

EUROPE SPECIAL 2016 CONTENTS

Rail Europe

ヨーロッパの鉄道を販売して
顧客満足度のアップへ

高速鉄道ネットワークの整備が進むヨーロッパ。自国内だけでなく、隣国と合わせたネットワーク化を進める動きが盛んだ。鉄道の駅は町の中心。飛行機を利用して郊外にある空港まで移動した場合と比較すると、そのメリットは大きい。旅行やビジネスなど、限られた時間の中でより効率的に移動できる。ヨーロッパでは、2025年までに中都市以上の都市間を、高速鉄道で「3時間30分前後」で結ぶことを目指しており、高速化による所要時間の短縮化が進んでいる。この「3時間30分」という時間は、1時間未満の飛行時間と比較した時に競争力のある時間として、検証の上設定されたもの。こうした高速化によりますます利便性が高まる「鉄道の旅」を、顧客に勧めてみてはいかがだろうか。



©Eurail GIE

なぜ、ヨーロッパの移動に
鉄道がよいのか？

① 鉄道の駅は、ほとんどが町の中心

駅は既に町の中心なので、ビジネスにもレジャーにも便利。ホテルにも近く、公共交通機関にもアクセスしやすい。飛行機を利用した場合、空港から町中までの移動時間がかかるばかりか、出発前のチェックインの時間を考えると、時間のロスも大きい。



©Eurostar

② 渋滞とは無縁で、正確な到着時間が把握できる

365日運行しており、渋滞とは無縁なので、思わぬ時間のロスがなく、正確な到着時間が把握できる。



©レイルヨーロッパジャパン

③ 充実した車内サービス

その土地ごとの味が楽しめる食堂車やバー、車内販売など、旅の醍醐味を堪能できるのも魅力。大きな窓もあり、美しい景色を楽しみながら、快適に移動できる。また、ファミリールームや幼児のおむつ替えルームなど、家族旅行に嬉しい子供向け設備も充実。



©レイルヨーロッパジャパン

バラエティ豊かな鉄道商品をお得な価格でお客様に

鉄道パスは種類が豊富。それぞれの旅の目的に合わせた商品を選択できる。割引やボーナス特典がついている鉄道パスや区間乗車券など、お得に旅行の提案ができる。

飛行機の場合と同様、鉄道もEチケット化が進み、旅行会社の手間は軽減され、便利でより販売しやすくなった。イールドコントロールされている高速路線の料金は、事前予約が断然お得。大切なお客様に効率的な旅行ができる鉄道を提案したい。

日本で鉄道商品を手配するためには？

① 運行スケジュールはいつでも検索可能

レイルヨーロッパウェブサイトから運行スケジュールを24時間いつでも検索。

② お得なグループ、RIT料金も

パッケージツアー造成用の特別なツアーパスやRITの料金も設定。

③ 問い合わせは日本国内 総代理店(GSA)へ

レイルヨーロッパジャパンでは、日本国内6社の総代理店に販売を委託している。商品の問い合わせ・申し込みは、総代理店、または鉄道商品を販売する旅行代理店へ。

日本国内 総代理店(GSA)のご紹介

(株)エイチ・アイ・エス 大槻啓 氏
tel: 03-6743-0385 fax: 5908-2652
Email: hotel03@his-world.com web: rail.his-vacation.com/

(株)ダイヤモンド・ビッグ社 鹿野博規 氏
tel: 03-3553-6641 fax: 03-3553-6692
Email: eurail@arukikata.co.jp web: www.arukikata.co.jp

(株)欧州エクスプレス 沖扶如 氏
tel: 03-3780-0468 fax: 03-3780-1290
Email: info@ohshu.com web: www.ohshu.com

(株)トラベルプラザインターナショナル 城壁隆 氏
tel: 03-3820-8021 fax: 03-3820-6379
Email: fit.land@tpityo.co.jp web: www.tpityo.co.jp/

(株)クオニージャパン 上村耕平 氏
tel: 03-5791-8100 fax: 03-3440-3466
Email: cs.jp@gta.co.jp

(株)ミキ・ツリスト 植田裕 氏
tel: 03-5404-8806 (代表) fax: 03-5404-6676
Email: y.ueda@group-miki.com web: www.myu-info.jp

HOT NEWS

世界最長のトンネル
「ゴットアルドバーストンネル」がついに完成！

中央スイスのエルストフェルトからイタリアとの国境ボディオを結ぶゴットアルドバーストンネルが2016年6月1日ついに開通した。このトンネルは、全長57キロ、最深部が2300メートルと、日本の青函トンネルを抜いて、世界でも最長・最深。

この開通によりチューリヒ〜ミラノ間の所要時間は約1時間短縮され、両都市間は、約3時間で結ばれることに。スイス国内はもちろん、南北ヨーロッパの移動時間が大幅に短縮された。商用開始は、12月からの予定だ。



©Alp Transit Gotthard AG

続々と延伸されるフランスの高速鉄道網
さらに早くさらに便利に

TGV 東ヨーロッパ線では今年7月に新線が開通し、パリ〜ストラスブルグ間が1時間48分で移動可能に。これまでと比較して、約30分の短縮となった。また、TGV アトランティック線では、2017年夏に高速線が新たに340km延伸。パリ〜ボルドー間が2時間5分で結ばれ、約1時間の短縮となる。その他、同じく2017年夏に開通予定のTGVブルターニュ〜ペイ・ド・ラ・ロワール線は、パリ〜レンヌ間が約90分とこれまでと比較して約37分短縮となり、人気のモン・サン・ミッシェルまでのアクセスも格段に便利になる。



©SNCF - Médiathèque

「タリス」がドルトムントへ運行スタート
「ユーロスター」は新型車両導入中

フランス、ベルギー、オランダ、ドイツを結ぶ高速列車「タリス」では、ブリュッセル〜ドルトムント間の運行がスタート、一日三往復便で運行中だ。またイギリスとフランス、ベルギー間を結ぶ人気高速列車「ユーロスター」では、順次新型車両を導入中。2016年中にはすべて一新される予定で、1車両あたりの座席も750席から900席へと拡大し、座席供給量が拡大するほか、最高時速が約300kmから約320kmとなり所要時間も短縮される。



©Eurostar

鉄道で巡るスイスの旅 プレゼントキャンペーン

※応募締切2017年1月末日(当日消印有効)

現在、スイストラベルパス、スイストラベルパスフレックスの購入者対象に、ヴィクトリノックスのスーツケースやスイス国鉄公式のモンディーンの壁時計、オリジナルSwatchなど豪華賞品が当たるプレゼントキャンペーンを実施中。応募方法は、購入者に進呈するオリジナルブックレットに付属するアンケートに答えて、ハガキで応募するだけ。当選者にはメールで連絡します。

ヨーロッパ鉄道 パスの各種割引キャンペーン実施中

※9月末まで(予定)

- ユーレイルグローバルパス、またはユーレイルセレクトパス、ユーレイルパス1カ国
2016年9月30日までの購入で、鉄道パスの通用日が最大5日間無料で追加されるキャンペーン実施中
- ジャーマンレイルパス
2016年8〜9月限定で、通用日7日間(通用日連続タイプ)を販売
- ブリットレイルパス
2016年8月8日〜9月29日まで、対象となる鉄道パス(ブリットレイルパス、ブリットレイルイングランドパス、ブリットレイルサウスウェストパスの大人、子供、ユース、シニア向けの各パス、およびセーバーパスのそれぞれ1等と2等)を購入すると、無料で通用日が1日追加。

世界のラグジュアリートレインの販売開始

レイルヨーロッパでは、ヨーロッパの鉄道商品に加え、アメリカのアムトラック、カナダのVIA鉄道、ロッキー・マウンテン号、オーストラリアのレールオーストラリア、ザ・ガン、インディアン・パシフィック、韓国のコレール(韓国鉄道公社)等の鉄道に加え、新たに世界のラグジュアリートレインの取り扱いも開始しました。また、海外からの訪日観光客向けに日本のJRグループの各種パスも販売しております。詳細はお問い合わせ下さい。



©Eurostar

RAIL EUROPE

各種キャンペーンの情報は、
メルマガはもちろんFacebookも
ご確認ください!

お問い合わせ／レイルヨーロッパジャパン

E-mail contact@raileurope.jp www.raileurope.jp

欧州文化首都に注目!

Team
EUROPE

「欧州文化首都」を切り口としたヨーロッパの新しい旅行商品造成に力を入れるTeam EUROPE。ここでは今年と来年の欧州文化首都に焦点を当てる。現地では年間通じてさまざまな芸術文化関連のイベントが行われるほか、日本との文化交流イベントも開催される。パッケージツアーだけでなく、団体旅行の素材としても新たに提案したい。

欧州文化首都とは?

「真の統合には、それぞれの文化の相互理解が不可欠」という考えを受け、1985年より欧州連合(EU、当時はEC)が毎年制定しているもの。当初は1都市だったが、加盟国の拡大を受け、2000年より複数の都市を制定するようになった。現在は、2カ国2都市を制定する流れが定着。現在、2020年まで都市が決まっている(国については2033年まで決定済)。

EU・ジャパンフェスト

1993年のアントワープ(ベルギー)よりスタート。欧州文化首都に制定された都市において、日本文化を紹介するイベント実施をサポート、日欧の文化交流の一端を担っている。ジャンルは多岐にわたり、年々その規模は拡大している。

これまでの欧州文化首都

1985年	アテネ(ギリシャ)
1986年	フィレンツェ(イタリア)
1987年	アムステルダム(オランダ)
1988年	ベルリン(ドイツ)
1989年	パリ(フランス)
1993年	アントワープ(ベルギー)
1994年	第1回EU・ジャパンフェスト開催
2014年	ウメオ(スウェーデン)／リガ(ラトビア)
2015年	モンス(ベルギー)／ブルゼニ(チェコ)

これからの欧州文化首都

2018年	レーワルデン(オランダ)／ヴァレタ(マルタ)
2019年	マテラ(イタリア)／プロヴディフ(ブルガリア)
2020年	リエカ(クロアチア)／未定(アイルランド)

詳しくは

「EU・ジャパンフェスト日本委員会」ウェブサイトまで
<https://www.eu-japanfest.org>

2016年の欧州文化首都

 **サン・セバスティアン**
San Sebastián

スペイン



©スペイン政府観光局

国内外から多くの観光客が訪れるサン・セバスティアンは、バスク州にある人口18万3千人の都市。近年「ピンチョス」や「美食クラブ」といった言葉で、その名を世界に知らしめている他、国際映画祭やジャズ・フェスティバルが開催される文化都市としても有名だ。

半径100キロ圏内に5つの空港がありアクセスは至便。街の至る所で芸術に触れることが出来るほか、世界的規模の文化イベントが毎年開催されている。ミシュラン星付きレストランの密集度の高さは、京都に次いで世界第2位。グルメとカルチャーを組み合わせたツアーの造成が可能だ。

イベント等、詳しくは <http://dss2016.eu/en/>



©スペイン政府観光局



©スペイン政府観光局

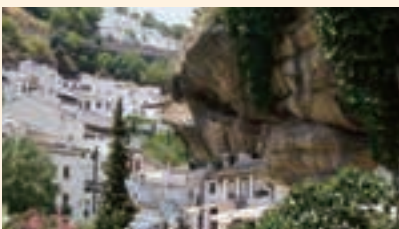


©スペイン政府観光局

足元のばして

セテニル・デ・ラス・ボデガス
Setenil de las Bodegas

ヨーロッパの美しい村30選



若月伸一氏撮影

川に少しずつ浸食された岩の隙間を埋めるように造られた洞窟住居で知られ、他にはない光景が見られる。村にはアラブ時代の塔や貯水槽が残し、家の中に入ると岩がそのまま天井や壁に利用されている。

 **ヴロツワフ**
Wrocław

ポーランド



画像提供:ポーランド政府観光局

文化・経済ともにシロンスク地方の中心都市として栄えてきた。千年の歴史を誇る文化都市。スラブをはじめ、モンゴル、ボヘミア侯、さらにハプスブルク帝国やドイツなどの影響を受けてきたヴロツワフには、この街でしか出逢えないコスモポリタンな文化遺産が数多く残る。

また、街を流れるオドラ川には、100本以上の橋で結ばれた12の島がある。なかでも「オストルフ・トムスキ」は、歴史あるヴロツワフでも最古の地区。4月から10月中旬までオドラ川のクルーズ運航あり(所要時間は40〜90分程度)。

イベント等、詳しくは <http://www.wroclaw2016.pl/>



画像提供:ポーランド政府観光局



画像提供:ポーランド政府観光局

足元のばして

ザリピエ
Zalipie

ヨーロッパの美しい村30選



若月伸一氏撮影

女性たちが煙突で汚れた壁にペイントをしたのがきっかけで、1930年代に陶器作家としても有名だった村の女性フェリツィア・ツリワの存在により、カラフルで繊細な花模様が有名になった。



画像提供:ポーランド政府観光局

2017年の欧州文化首都

 **パフォス**
Pafos／Πάφος

キプロス



若月伸一氏撮影



若月伸一氏撮影

女神アフロディーテ伝説発祥の地パフォスは、かつてのキプロスの首都。古代パフォス衰退後も新たな町が建設され、ローマ時代の貴族の館跡やモザイク芸術の傑作も残る。豊富な観光資源を持つこの町では、「古代ギリシャ劇」などの文化イベントも多数開催されている。

キプロスは、古代からワイン造りを行ってきた国のひとつ。新石器時代からの遺跡やギリシャ神話伝説の地、ビザンチン教会および修道院、ユネスコ世界遺産をはじめ、自然観察や地中海クルーズなど、観光資源が豊富。

イベント等、詳しくは <http://www.pafos2017.eu/>



若月伸一氏撮影

足元のばして

レフカラ
Lefkara

ヨーロッパの美しい村30選



若月伸一氏撮影

1481年にレフカラ村を訪れたレオナルド・ダ・ヴィンチが、美しいレフカラレースに感動し、ミラノの大祭壇に飾るためにレースを持ち帰ったと言われている。

 **オーフス**
Aarhus／Århus

デンマーク



若月伸一氏撮影

デンマーク第2の都市オーフスは、中世の佇まいとモダン建築が融合した活気溢れる文化都市。毎年8月下旬から9月にかけて開催される芸術祭「オーフス・フェスティバル」で知られ、近年は新たな北欧料理の発信基地としても世界的な注目を浴びるガストロノミー都市でもある。

旧市街には、歴史的な建造物が多数点在しており、オーフス大聖堂は、デンマーク最大を誇る。新たな北欧料理の発信基地として注目され、ミシュラン星付きレストランも3軒ある。毎年、アートやジャズ・フェスティバルなどの文化イベントも開催されている。

イベント等、詳しくは <http://www.aarhus2017.dk/en>



若月伸一氏撮影



若月伸一氏撮影



ヨーロッパの美しい村30選

beautiful villages in Europe



まだまだ日本で知られていないヨーロッパの隠れた魅力。ヨーロッパ旅行商品の新たなトレンドとなるべく、Team EUROPEでは、ヨーロッパ各国の魅力的な「村」30ヶ所を選定。旅行商品を通じて、広く一般消費者へ向け発信することで、ヨーロッパへの旅行需要拡大を図る考えた。

「ヨーロッパの美しい村30選」について
詳しくは「Team EUROPE 情報Webサイト」まで

<http://www.jata-net.or.jp/team-europe/>

役立つ情報がいっぱい!

Team EUROPE 情報Webサイト



<http://www.jata-net.or.jp/team-europe/>

JATAメルマガでサイトの更新情報をチェック!

すぐに役立つ情報満載の「Team EUROPE情報Webサイト」。内容を常に更新しているので、ブックマークに登録して、必要なときにアクセスして情報を入手したい。また会員旅行会社向けに配信しているJATAメルマガでもサイトの更新情報を紹介しているので、こちらも要チェックだ。

旅のヒントが見つかる 便利なサイト

ヨーロッパの商品造成に役立つ企画ヒントをさまざまな切り口で紹介するTeam EUROPEのウェブサイト「Team EUROPE情報Webサイト」(<http://www.jata-net.or.jp/team-europe/>)。Team EUROPEで進めている「欧州文化首都」や「ヨーロッパの美しい村30選」などの情報ははじめ、総合旅行情報サイト「トラベルコちゃん」(<http://www.tour.ne.jp/>)のアクセス数ランキング、販売店の売れ筋レポートなど、最新情報も随時アップデート。旅行会社の企画担当者のみならず、販売スタッフにも必見の内容だ。是非一度アクセスして、常に内容をチェックできるよう、ブックマークに入れておきたい。



Team EUROPE情報Webサイト
<http://www.jata-net.or.jp/team-europe/>

1 欧州文化首都



Team EUROPEが新たに焦点を当てる「欧州文化首都」の旅行情報を紹介。2016年と2017年の欧州文化首都に指定されている4都市にフォーカス、今後順次内容を拡充していく予定だ。▼本特集4~5ページで紹介

2 ヨーロッパの美しい村30選



Team EUROPEが選定した「ヨーロッパの美しい村30選」を、ひとつひとつ詳しく紹介。会員サイトでは、画像集のほか、バスでのアクセス、宿泊施設、観光に適した季節など、企画目線の情報をチェックできる(要ログイン)。

3 素材研究「食」 オフシーズン企画ヒント ニューデスティネーション



これまでTeam EUROPEの各支部が掘り下げたヨーロッパの企画ヒントを網羅。意外と知らないヨーロッパ各国の名物料理、オフシーズンの旅行素材、さらに「ヨーロッパの次なるデスティネーション」をチェックできる。いずれもアクセントのある旅の提案には、欠かせない素材だ。

4 チームヨーロッパレポート



一般消費者のリアルな動向を知りたいならここをチェック! 「トラベルコちゃん」のアクセス数をランキングにした「ヨーロッパ・ベスト20 人気ランキング」や、全国の主要なカウンター販売店のスタッフに聞いた売れ筋レポートを随時紹介、今後のマーケティング戦略にも役立つ。

5 ピクチャーライブラリー



オフシーズンの企画ヒントやニューデスティネーションの画像が並び、画像をクリックすると、各画像の詳細情報に飛ぶことができる。

いつでもどこでもタイムリーに!

週刊ウイングトラベル 電子版を開始します。



電子版先行配信が2016年9月1日からスタート! 無料試読がお試し頂けます。

パソコンはもちろん、
スマートフォンやタブレットで
いつでも、どこでも見られます。



電子版だからできる便利な機能付き

記事検索

調べたいキーワード、期間を指定して過去の記事検索が可能。関連情報をキャッチできます。



選択してクリック



記事掲載ページをPDFで表示します。

パソコンでご覧になる場合



ログインページでログインIDとパスワードを入力して「マイページ」へアクセスします。

※パソコンにはPDFファイル形式を表示するための「Adobe Reader(無料)」が必要です。
※パソコンでの閲覧を目的としているため、表示されるPDFの保存はできません。
※ページ単位で印刷はできます。



カレンダー内のアイコンをクリックするとその日付のニュースが別ウインドウで開きます。

最新号の更新(または未読の場合)は赤いサインでお知らせします。



カレンダーの他、配信日のリスト表示もお選び頂けます。

スマートデバイス(スマホ・タブレット)でご覧になる場合

アプリのインストールとIDを登録

① iOSおよびAndroidから電子版を閲覧していただく場合、AppStoreおよびGoogle Playより「NSブラウザ」をインストール

② 新規購読メールのログインURLからマイページログイン画面にアクセス。

③ ホーム画面にアイコンを追加。



2回目以降はホームアイコンから簡単アクセス

④ ホーム画面に追加されたアイコンをタップ
※Androidの場合は「ショートカットを追加」でホーム画面にアイコンを追加できます。

⑤ ログイン画面でIDとパスワードを入力

⑥ カレンダーまたはリストをタップしてコンテンツを閲覧します。

週刊ウイングトラベル 電子版 Q&A

Q 購読料は?

A 本紙購読と同じく1アカウントにつき1年間12960円(税込)です。複数購読をご希望の場合、1アカウントにつき年間プラス3888円(税込)で、追加できます。(1ヶ月あたりわずか324円と大変お得な料金です。)

Q 電子版だけの購読は可能ですか?

A 可能です。本紙購読者は年間3888円(税込)で購読できます。お得な本紙と電子版のセット購読をおすすめします。

Q 配信されるPDFは保存や印刷ができますか?

A パソコン、スマートデバイスでの閲覧を目的としているため、表示されるPDFの保存はできません。印刷はできます。

Q 記事検索できる検索対象は?

A 2014年1月以降に発行した号が検索対象範囲です。
※利用開始は本購読開始後からとなります。

Q 他に便利な機能がありますか?

A 気になる記事の掲載号をコメント付で「お気に入り」に収納できます。

Q 無料購読の期間はいつまでですか?

A 1ヶ月間無料お試し版をご体験いただけます。

Q 申し込み方法は?

A 弊社ホームページの専用フォームもしくは下記URLからお申し込みください。

先行配信お申し込みは下記URLより!!

WING TRAVEL
WEEKLY

週刊ウイングトラベル

1969年に創刊した旅行・航空業界の週刊専門紙。
航空・観光行政の官公庁情報、エアライン・旅行会社・ホテルなど旅行関連企業の最新動向を迅速かつ詳細に報道。

お申し込みは <https://goo.gl/5Uaw2z>



週刊ウイング

わが国唯一の週刊航空宇宙専門紙。
昭和32年の創刊以来、防衛省、経済産業省、国土交通省、文部科学省、航空宇宙工業メーカー、航空会社、商社などを中心に幅広い読者層を持っています。

お申し込みは <https://goo.gl/pZSz9o>



Heart of Europe ヨーロッパの中心、ポーランド

アールヌーヴォー建築が建ち並ぶ 「優美な工業都市」 ウッチ ŁÓDŹ

ポーランド第3の都市で、19～20世紀初頭に紡績業で栄えた工業都市ウッチ。「ポーランドのマンチェスター」として繁栄したこの町には、絢爛豪華なアールヌーヴォー様式で彩られた経営者たちの大邸宅が今に残る。かつての工場や倉庫、数多くの労働者を受け入れた集合住宅は、ショッピングセンターやホテル、レストランやギャラリーなどに生まれ変わり、ポーランドでも最新のトレンドを発信する町として今、注目を集めている。日本からの直行便が飛ぶ首都ワルシャワからバスや鉄道で約2時間程度とアクセスしやすく、日帰りで訪ねることも可能だ。



宮殿のような大邸宅に思わずため息 アールヌーヴォーの魅力に触れる

町の中心部にあるウッチ市博物館は、この地で活躍したユダヤ系大資本家ボズナンスキ家の邸宅。「ボズナンスキ宮殿」と呼ばれたほどの大邸宅で、当時の繁栄ぶりに思わずため息が出るほど。19世紀の建物で、フレンチ・ルネサンス様式の外観に、内部はネオ・バロック様式の重厚なインテリア、ユダヤ風の模様や19世紀末から20世紀初頭にかけて流行した優美なアールヌーヴォー様式のデザインも取り入れている。



ボズナンスキ宮殿

メインストリートとして賑わうピオトルコフスカ通りにもアールヌーヴォー様式の建物が並び、町全体が洗練された雰囲気包まれている。中世の建物が美しい古都クラクフとはまた違った独特な魅力がある。



アールヌーヴォー様式の建物

かつての工場や倉庫、集合住宅が変身 今やトレンド・スポットに



複合施設「マファクトゥーラ」

工業都市として繁栄を極めたウッチ。今、当時の工場や倉庫、ポーランド全土から集まった労働者たちが住んでいた集合住宅がリノベーションを経て、当時の雰囲気をそのままに、ポーランドでも屈指のトレンド・スポットに生まれ変わっている。

ショッピングだけでなく、1日中遊べるアミューズメント施設やレストラン街なども充実した複合施設「マファクトゥーラ」は、かつての赤レンガ工場を再生したもの。隣接する赤レンガ倉庫は、スタイリッシュなデザイナーズ・ホテル「アンデルス・ホテル・ウッチ」(全278室)として滞在できる。

集合住宅は、おしゃれなレストランやカフェ、ショップやギャラリーに変身。どこか懐かしレトロで、また昔の社会主義時代を感じさせる異次元な雰囲気が今や新しい魅力となって、若者を中心に幅広く人気を集めている。



旧工場を利用した高級マンションも

ちょっと足を伸ばして



切り絵や刺繍、民俗芸術の町

ウオヴィチ



ワルシャワからウッチへ向かうちょうど中間に位置するのがウオヴィチ。鮮やかな色彩が印象的なポーランドの民俗芸術の町として知られている。植物などをモチーフとした可愛い刺繍や切り絵はその代表。繊細で細やかなデザインはハンドメイド。刺繍を施した民族衣装を身にまとった人形などもポーランドならではのおみやげとして最適。地元なら比較的安価で手に入る。



映画など、芸術文化あふれる町 ユニークなイベントにも注目

ウッチは「ポーランドのハリウッド」と言われるほど、映画産業の盛んな町。ウッチ映画大学は、ロマン・ポランスキやアンジェイ・ワイダら世界的に有名な映画監督を輩出。ポーランド唯一の映画博物館もある。

また、この町は、映画だけでなく、子供用アニメやファッションなど、芸術文化あふれる町としても知られる。年2回開かれる「ポーランド・ファッション・ウィーク」などの関連イベントは注目だ。



街の至る所にパブリックアートが

また、ウッチの文化を形成した4つの文化、ポーランド、ロシア、ドイツ、ユダヤのそれぞれの文化を体験できる「4つの文化フェスティバル」(毎年5月)も人気。

光と音楽の祭典「ライト・ムーブ・フェスティバル」(毎年10月)は、メインストリートのピオトルコフスカ通りに並ぶ建物を、最新技術を駆使したプロジェクション・マッピングを投影する幻想的な光景が最大の見どころだ。



©P.Kamionka

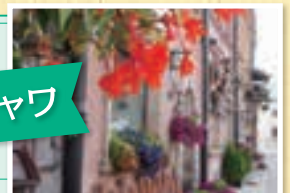


© Kaczmarekiewicz_Kozłowski

きらびやかな「ライト・ムーブ・フェスティバル」

ポーランドのゲートウェイ 直行便就航でより便利に

ワルシャワ



成田から直行便が就航し、ノンストップでアクセスできるようになった首都ワルシャワ。ポーランドへのゲートウェイとしてだけでなく、第二次世界大戦後の攻撃で破壊された街並みを忠実に再現したことで世界遺産に指定された歴史地区をはじめ、音楽家ショパンゆかりの地が数多く点在するなど、見どころが充実。空港から中心部へも近いので、到着後、すぐに街の雰囲気を体感できるのも魅力だ。



ワルシャワ歴史地区



Move Your Imagination



POLISH
TOURIST
ORGANISATION

ポーランド政府観光局 www.poland.travel

地中海の真ん中より、親愛なる日本の皆様へ

マリアン・ポータニーア

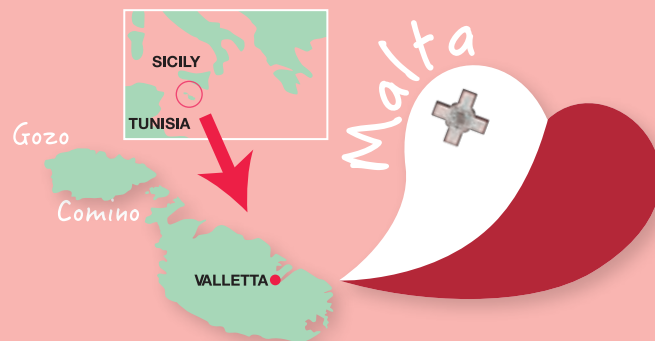
Senior Manager-Marketing-Japan & South Korea
Malta Tourism Authority

近年、私の勤務先マルタ観光局の本部がある首都ヴァレッタで多くの日本人観光客、語学留学生をお見受けする機会があります。聞くところによりますと、マルタへ年間に何度も訪れてくださっている方もいらっしゃる、大変嬉しく思っているのと同時に、非常に驚いております。私は以前から日本に大変興味を抱いておりましたが、昨年ついに念願のアジア地区担当となりました。私が担当となりました以上は、より一層多くの日本の方にマルタへの興味を持っていただけるよう日本支局と連携し、マルタの様々な最新情報をお届けできるよう心掛け

たいと思っております。

マルタに関する質問についてはマルタ観光局日本支局に気楽にご連絡ください。また日本支局は、マルタ航空の販売代理店も兼任していますので旅の質問はもちろんのこと、最適なマルタへのフライト情報も提供しております。

今年の9月ツーリズムEXPOに参加するため、初めて日本を訪れる予定です。今までにマルタに来ていただいた方々全員への感謝を胸に1日も早く日本の皆様にお会い出来るのを楽しみにしております。



Heart of Mediterranean

訪れた人が愛してしまうマルタ
マルタの魅力を探る

映画に愛された島、マルタ

マルタがいかに特別な島なのか、世界中の最上のリゾートを知るハリウッドセレブが、マルタを愛するのはなぜか。世界中の美景観に精通する映画関係者が、たびたびマルタを映画撮影の舞台に選ぶ理由はなぜか。マルタが特別な島である理由に重なるかもしれない。

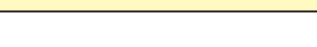
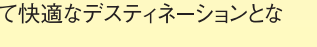
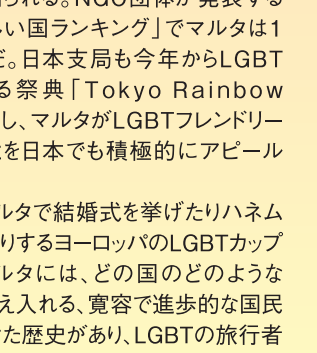
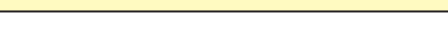
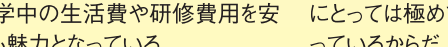
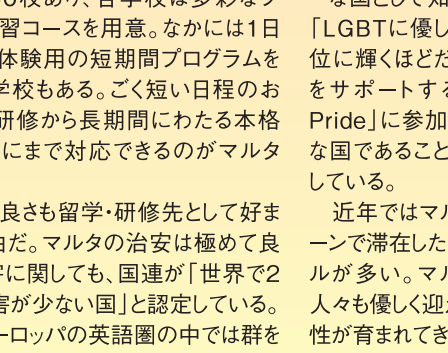
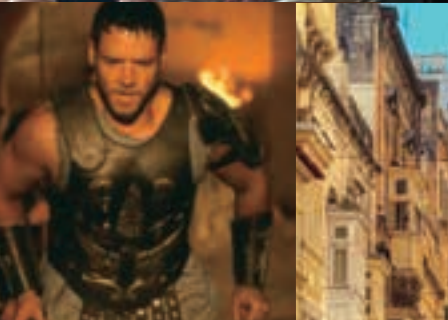
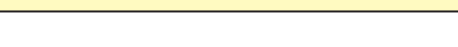
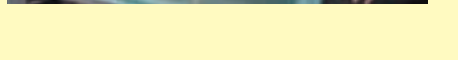
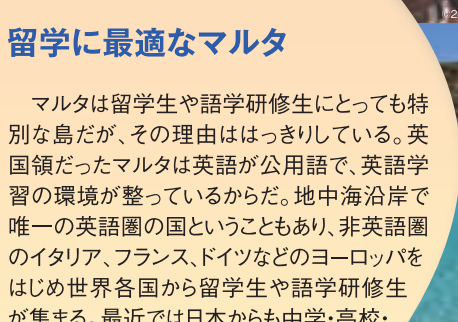
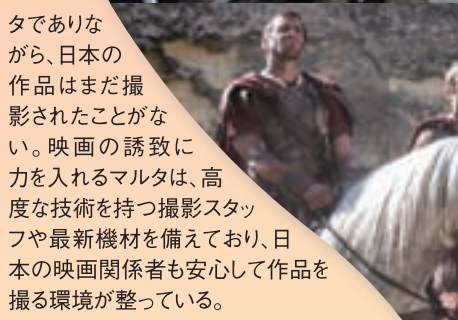
ブラッド・ピットとアンジェリーナ・ジョリー夫妻もマルタに魅せられた。04年の映画「トロイ」の撮影で訪れて以降、頻繁に来島し、ハネムーンでも訪れた。

そんなブラッド・ピット夫妻が10年ぶりに共演する新作ラブロマンス「白い帽子の女」(日本公開は9月24日)もマルタで撮影。物語の設定は70年代の南仏のリゾートで、撮影はマルタ本島からフェリーで25分ほどのゴゾ島。ミステリアスなラブロマンスの物語を紡ぐのには最高のシーンを提供した。

マルタが世界中の映画関係者をいかに虜にしているかは、90年も前から映画のロケ地として120本近い映画作品に登場していることからわかる。2000年の「グラディエーター」では帝政ローマ時代の歴史の重厚感が再現された。02年の英国映画「モンテ・クリスト伯」ではマルタに残る中世の街並みが多くの場面で映画にリアリティを与える重要な役割を果たした。このほか人気ゲームを実写化した15年の「アサシンクリード」では、現在と過去が錯綜する空想的なアクション物語の舞台としてマルタの歴史的な街並みが登場。13年のブラッド・ピット主演作「ワールド・ウォーZ」では、映画のハイライトとも言える重要なシーンがヴァレッタで撮影された。

島の北西部には、36年前に実写版映画「ボパイ」の撮影に使われたセットが当時の姿そのまま残っている。映画に興味がない旅行者でもノスタルジックな風景には感動させられるはずだ。

残念なことに、これほど映画に愛されたマル



LGBTフレンドリーなマルタ

マルタには英語学校が約40校あり、各学校は多彩なプログラムと学習コースを用意。なかには1日～2日といった体験用の短期間プログラムを用意している学校もある。ごく短い日程のお試的な語学研修から長期間にわたる本格的な語学留学にまで対応できるのがマルタの特徴だ。

生活環境の良さも留学・研修先として好まれる大きな理由だ。マルタの治安は極めて良好で、自然災害に関しても、国連が「世界で2番目に自然災害が少ない国」と認定している。また物価も、ヨーロッパの英語圏の中では群を抜いて安く、留学中の生活費や研修費用を安く抑えられるのも魅力となっている。

マルタはLGBT(性的少数者)にフレンドリーな国として知られる。NGO団体が発表する「LGBTに優しい国ランキング」でマルタは1位に輝くほどだ。日本支局も今年からLGBTをサポートする祭典「Tokyo Rainbow Pride」に参加し、マルタがLGBTフレンドリーな国であることを日本でも積極的にアピールしている。

近年ではマルタで結婚式を挙げたりハネムーンで滞在したりするヨーロッパのLGBTカップルが多い。マルタには、どの国のどのような人々も優しく迎え入れる、寛容で進歩的な国民性が育まれてきた歴史があり、LGBTの旅行者にとっては極めて快適なデスティネーションとなっているからだ。



マルタ観光局

www.mtajapan.com

TEL 03-3569-0727

画像 マルタ観光局 Vince De Bono / Malcolm Debono / Air Malta

Film still courtesy of the Malta Film Commission

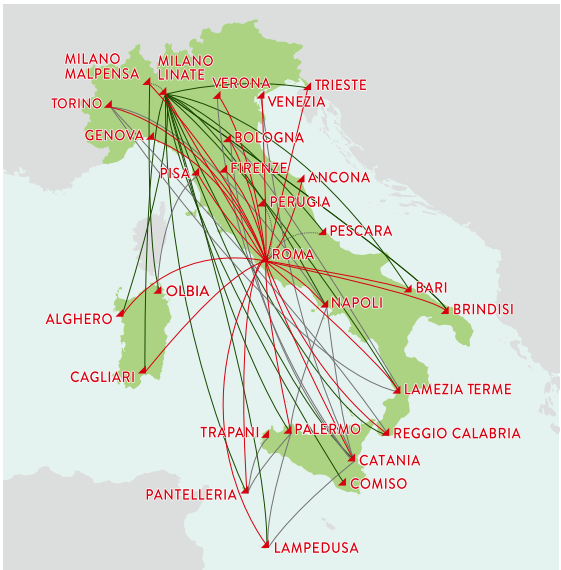
アリタリア-イタリア航空

ローマ、ミラノへノンストップ 新しいアリタリアでイタリア、ヨーロッパへ

日本からイタリアへは、唯一の直行便を運航するアリタリア-イタリア航空が便利。ローマとミラノへ、ノンストップで約12時間。さらにイタリア国内27都市をはじめ、ヨーロッパ各地へのネットワークも充実している。



イタリア国内27都市をカバー ヨーロッパ各地への乗継も便利、イタリアを楽しめるプランも



ローマ、ミラノの空港は、ショッピングが充実。ブランドショップ、免税店、他イタリアの食材が並び、乗り継ぎ時間を楽しく過ごすことができる。

また、ヨーロッパ行きの航空券には、ストップオーバーチャージが1回免除で、ホテルと半日ツアーのセット「ローマ立ち寄りプラン」と「ミラノ立ち寄りプラン」(80ユーロ〜)を用意。ミラノでは予約が取りづらいレオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晚餐」鑑賞の日本語半日ツアーもある。詳しい内容は、ホームページ (www.alitalia.com/ja_jp) をチェック。

日本 - イタリア 時刻表 3月26日~10月29日							日本 - イタリア 時刻表 10月30日~3月25日						
便名	出発地	到着地	機材	出発時間	到着時間	運航日	便名	出発地	到着地	機材	出発時間	到着時間	運航日
AZ785	成田	ローマ	B777	13:15	19:00	毎日	AZ785	成田	ローマ	B777	14:10	19:00	毎日
AZ784	ローマ	成田	B777	15:20	10:30翌日	毎日	AZ784	ローマ	成田	B777	15:00	11:15翌日	毎日
AZ787	成田	ミラノ	B777/A330	13:00/12:50	18:30/18:35	毎日	AZ787	成田	ミラノ	B777/A330	13:35	18:10/18:25	月水木土
AZ786	ミラノ	成田	B777/A330	15:25	10:15/10:20翌日	毎日	AZ786	ミラノ	成田	B777/A330	15:00/14:55	11:05翌日	月水金日

※2016年9月現在のスケジュールです。スケジュールは予告なく変更されることがありますので、事前にご確認ください。

アリタリアのマイレージ・プログラム「クラブ・ミッレミリア」

アリタリアのマイレージ・プログラム「クラブ・ミッレミリア」は提携航空会社が充実。マイルが貯まりやすく、使いやすい。

エティハド・パートナーズ



スカイチーム提携航空会社



VIPラウンジ リニューアル・オープン「CASA ALITALIA」

現在、ローマ、ミラノ(マルペンサ空港、リナーテ空港)、ヴェネツィア、ナポリ、



カターニアにあるラウンジでは、シャワーでリフレッシュできるほか、オープンキッチンで茹でたてのパスタやピザ釜で焼いた焼き立てピザ、フレッシュサラダにフルーツなど、本場イタリアンのbuffeを満喫でき、上質なワインも揃う。

ビジネスクラス、アリタリアのVIP会員(CFAプラス、CFA会員)、スカイチームのエリート・プラス会員は無料で利用が可能。アリタリアのUlisse会員なら1名分の料金で同行者と2名で利用できる。利用料金: 事前購入35ユーロ、空港での購入45ユーロ、2才未満無料

上質で温かいイタリア式おもてなし より良いサービスを提供

イタリアを代表する航空会社として、2015年にブランド・イメージを一新し、新しいスタートを切ったアリタリア。イタリアはたくさんの人々の心に、忘れられない感動を残してくれる国。イタリアの美しさ、イタリア人のスタイリッシュな想像力、そして情熱を感じられるようなユニークな体験を、イタリアで、また機内で体験できる。

2016年より、機体がスピード感を感じさせる新しい塗装になり、機内もリニューアル。2016年6月からは乗務員、地上職員のユニフォームを一新。2017

年5月からは、順次機内Wi-Fiと国際ローミングが導入される予定だ。

また、受託手荷物は、すべてのクラスで1名2個(ビジネスクラス: 32kg、プレミアム・エコノミーとエコノミークラス: 23kg、1個あたり)まで無料なもの嬉しいポイントだ。



日本路線では日本人客室乗務員が常に2名乗務しているので安心

ビジネスクラス イタリアのプロダクトにこだわり

マッサージ機能付きのフルフラットシートは、伝統的な職人技とモダンズムを融合させたポルトローナ・フラウのプロダクト。シートは、柔らかい牛仔革の上質な部分のみを厳選し、丁寧になめし加工が施された、しなやかな革張り、機内を快適に過ごすことができる。

搭乗後のウェルカムドリンクのサービスには、स्पマンテ「フェッラーリ・マキシム・ブリュット」などを提供。また食事は、「Dine Any Time」をモットーに、いつでも自由な時間に、好みの食事をチョイスできる。

評判の高い食事は、2010年より6年連続で米グローバル・トラベラー誌の最優秀機内食賞を受賞。イタリアソムリエ



協会推薦のワインと共に、リチャード・ジノリの食器で、フルコースのイタリアンを、食後のエスプレッソコーヒーまで優雅に堪能できる。

なお、日本出発便では、和食や大切な記念日を祝う「アニバーサリーケーキ」「ハネムーンケーキ」のリクエストも可能だ(要事前予約)。

ほかにも、ブルガリのアメニティキットやフレッテの寝具など、すべてイタリアブランドを使用。マイレージ・プログラム「クラブ・ミッレミリア」では、マイレージが最大300%加算される。

プレミアム・エコノミー スペース40%アップの優雅な空間

空港では、専用カウンターでの搭乗手続きでスムーズ。搭乗後のウェルカムドリンク、日本語の新聞/雑誌のサービス、温かいおしぼり、アメニティキット等、ワンランク上のサービスを提供。独立したプライベート感のある落ち着いた客室空間に、人間工学を研究して作られた快適なシートでイタリアが近く感じるはずだ。

食事は、イタリアンか和食のチョイス。陶器のサービスで、エコノミークラスと比べ、食事と飲み物の種類が増える。食後のエスプレッソコーヒーもリクエスト可能。日本発のフライトでは、「ハネムーンミール」のリクエストが可能だ(要事前予約)。

10.6インチのオンデマンド・パーソナルテレビでは、さまざまな映画、オペラ、ゲームなどの機内エンターテインメントが楽しめるほか、パソコンや携帯電話の充電も可能。マイレージ・プログラム「クラブ・ミッレミリア」では、マイレージが最大200%加算される。



エコノミークラス わずかな料分で足元の広いコンフォートシートを

カジュアルなイタリアン・デザインを追及。食事は、イタリアンか和食のチョイス。イタリアワイン、ビール、ソフトドリンクなど、すべて飲み物を無料でサービス。日本発のフライトでは、「ハネムーンミール」のリクエストが可能だ(要事前予約)。

足元の広いコンフォートシートは、旅行会社、アリタリアのコールセンター、WEBチェック



好評の「ハネムーンミール」

